

畢底爾山路
圖魯特達坂

庫々烏蘇
山路

那喇特山
路

鮮しとせずと雖も、斯る危険の地を往來するに至りては、恐らくは之を新疆土人に求むる外、將た何人か有る。實に彼等は、一種不可思議の人種にして、利益の前には危険なし。之を以て古來毎年、南路の纏頭該山路を辿り、伊犁に布匹を輸送する爲め、官嶺南に纏頭一百二十戸を置き、日々氷磴を穿鑿修理し、橋を架し、滑走を防ぎ、専ら其通行に便ならしめしが、同治の回亂後、此の事全く中絶したり。然れども剛膽なる商民は、今尙同山路を取る者ありと。

又阿克蘇、伊犁間、烏什より畢底爾山路を越え、セミンチエンスク州、喀喇潤勒に出でて、伊犁に赴くの一略あるも、是れ亦甚だ險なりと云ふ。喀什噶爾よりするには、圖魯噶爾特達坂を過り、納林斯廓威爾泥を経て伊犁に入るもの、辛ふじて車輛を通ずと。

斯て喀喇沙爾に到るにも、亦數條の道路ありて、特克斯河の右支流なる、庫々烏蘇河に沿ひ、其の上流にて山を踰え、大著勒都斯の河谷に出づるもの、是を庫々烏蘇路と稱ふるも、素より紀行なく知る人なきが故に、遂に狀況を知るを得ざりき。

又空克斯河を溯り、昌曼山を過ぎ、昌曼河源より、那喇特嶺を越え、小著勒都斯河谷